

無石綿

# NS生モルパウダー

生モルタル専用混和材

NS生モルパウダーは生モルタルに添加する事により、セルフレベリング材に近い流動性、施工性、レベル性を生モルタルに付与できます(流動化モルタル)。また、リーズナブルな床下地材として施工ができる画期的な専用混和材です。

## 特長

- 生コンプラント、現場アジテータ車の何れでも流動化モルタルの製造が可能です。
- 輸送時間がかかり、生SL材が供給できなかった地域にも供給が可能となります。
- 流動化モルタルの製造は既存の設備で対応できるため、新たな設備投資が不要です。

ご注意：生コンプラントで使用される砂の品質によって流動性、仕上がりが変わりますので事前に必ず当社の「流動化モルタルの手引き」に従って確認をおこない、採否を決定してください。

## 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
25kg/袋	内部床	コンクリート、PC板	フローリング、カーペット、二重床(Pタイル、長尺シート)*1	生モルタル*2 1m <sup>3</sup> 生モルパウダー 2袋 清水*3	10~30mm*4	約100m <sup>2</sup> (10mm厚)

注) \*1：Pタイル・長尺シート仕上げをおこなう場合、事前に当社までご相談ください。

\*2：セメント：砂=1：2（重量比）

\*3：清水の割合は使用する生モルタルの配合で変わります。事前に当社までご相談ください。

\*4：流動化モルタルの厚みは使用する生モルタルの骨材の大きさにより変わりますのでご注意ください。

上記標準仕様以外の施工による不具合につきましては、当社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

## 性能

### ■流動化モルタルの物性

試験項目	試験結果	試験方法	
フロー値(cm)	20.7	JASS 15M-103* (国土交通省官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」セメント系セルフレベリング材の品質規準)による	
凝結時間(時間-分)	始発		8-24
	終結		14-52
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	20.8		
下地接着強度(N/mm <sup>2</sup> )	10mm厚		1.9
	20mm厚		2.5
表面接着強度(N/mm <sup>2</sup> )	10mm厚		1.1
	20mm厚		1.2
耐衝撃性	割れおよびはがれはなし		

注) \*：試験環境は、20℃での参考値です。

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

※流動化モルタルの物性は生モルタルの品質により変わります。

日本化成(株)中央研究所

## 下地の清掃

### ■ 流動化モルタルの施工法

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、真空掃除機等で清掃してください。

\*気泡発生および接着不良による浮きの原因となりますので、特に雨打たれ部分等のぜい弱部は、ポリッシャー等を用いて完全に除去してください。

\*流動化モルタルは僅かな隙間でも漏れやすいため、漏出のおそれのある箇所をモルタル等でシールしてください。

## 下地処理 (プライマー塗布)

流動化モルタルの施工前日までに、施工面にNS高性能プライマーSL用の5倍希釈液(NS高性能プライマーSL用 1：清水 4)を左官刷毛等で2回塗布(合計300g/m<sup>2</sup>)してください。1回目塗布後、NS高性能プライマーSL用が乳白色から透明になってから2回目を塗布してください。

\*1回目と2回目の塗布間隔は、夏季1~2時間以上、冬季3~5時間以上が目安です。ただし、乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布をおこなうか、埃等の付着がないよう養生してください。

\*安定した気泡抑止効果が得られないおそれがあるため、ゴムベラ、スプレー等による塗布は避けてください。

## 練混ぜ

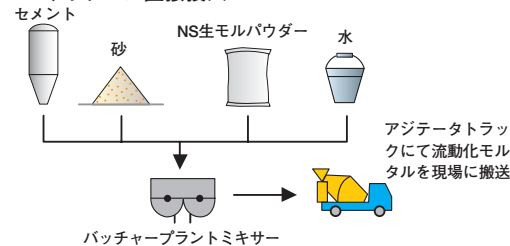
### ■ 流動化モルタルの製造方法

流動化モルタルの製造は主に下記の2種類の方法があります。

\*流動化モルタルの製造方法は必ず当社にお問い合わせください。

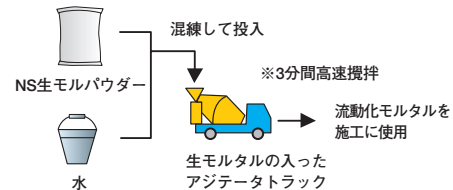
#### ● 生コンプラント添加型

生モルタル製造時にNS生モルパウダーをミキサーに直接投入



#### ● アジテータ車添加型

NS生モルパウダーをスラリー状にし、アジテータ車に添加



## 打設

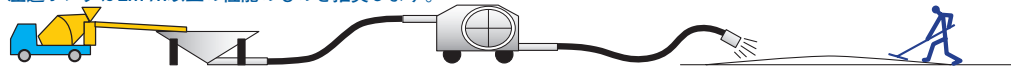
アジテータ車からモルタルポンプのホッパーに流動化モルタルを下ろし施工箇所までポンプ圧送し部屋の隅から順に広げるように流布しながら、レベルに合わせて土間ごてで軽く均してください。打継ぎは打設後15分以内を目安とし、平滑に均してください。

\*流動化モルタルは製造後、3時間までを目安として流布を終了してください。夏季は可使時間が早くなるので十分に注意して施工してください。

\*平坦に仕上げるために、素早く仕上げてください。

\*仕上り精度が悪くなるので、流布後15分以上経過しての手直しは避けてください。

\*圧送ポンプは2m<sup>3</sup>/h以上の性能のものを推奨します。



## 養生

施工終了後24時間(冬季は48時間)は、直射日光、急激な乾燥、振動、衝撃等を避けてください。また、仕上材施工までの養生期間は10日(冬季は14日)以上とし、硬化後、通気養生をおこなってください。

\*施工翌日(冬季は2~3日後)には軽歩行が可能です。床表面は特に傷つきやすいので、十分注意してください。

\*仕上材施工をする場合、十分に乾燥(目安として含水率8%以下)していることを確認してください。

\*仕上材までの工程間隔が1ヶ月以上かかる場合は、養生シート、合板等で養生をおこなってください。

## 留意点

- ①NS生モルパウダーは、これまでのモルタル押えの手間を大幅に軽減するために開発された製品で、SL材と同じものではありません。流動化モルタルの性能は使用される生モルタルの性能に影響されます。
- ②モルタルに使用される細骨材の品質により、流動化モルタルは硬化表面の仕上り性が大きく変わります。ご採用前に弊社にお問い合わせください。
- ③流動化モルタルの配合比率は、セメント：砂が1：2が目安です。詳しい配合については、当社にお問い合わせください。



### 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0607034
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



製品問合せダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問い合わせください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。